

# 医療系大学におけるグローバル人材育成 東京医科歯科大学における 現状と新たな取り組み

東京医科歯科大学グローバル人材育成推進事業  
実施責任者  
東京医科歯科大学医学部附属病院長

田中雄二郎

## 医療・医学領域 グローバル化の課題

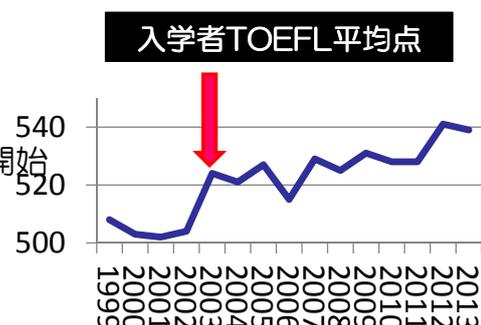
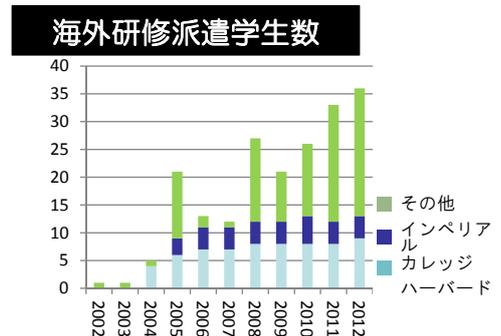
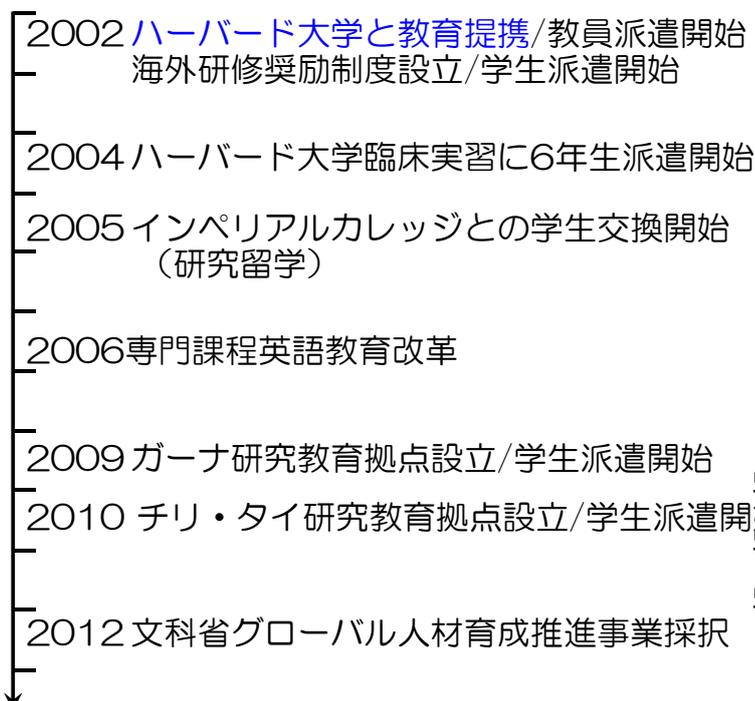
- 医療提供：
  - 医療ツーリズム後進国（先進国：ハンガリー、タイ、シンガポール等）
  - 世界的流行病や災害時の国際協調へ参画の遅れ
- 医療の標準化：
  - 診療ガイドライン等の国際標準化へ参画の遅れ
- 医療を支える分野
  - （生命科学研究分野）
    - 研究論文数で遅れ（特に臨床研究）
  - （国際保健/医療政策分野）
    - リーダー輩出の遅れ
  - （医療産業分野）
    - 医薬品/医療機器分野でも輸入超過

## • 教育理念

- 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養
- 自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成
- 国際性豊かな医療人の養成



## 東京医科歯科大学における グローバル人材育成 取組経緯



# 文部科学省 グローバル人材育成推進事業

## グローバルヘルスリーダーの育成体系

### 東京医科歯科大学

2013年度より5年間 事業費 1.2億円x5年間(申請額)

(採択結果コメント、採択医学部は、本学と工学部と連携した新潟大学のみ)  
今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、

20年、30年後の「日本」を見据え国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、

日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にする国になるための礎となる  
「グローバル人財」の育成に中心となって取り組む拠点大学である

ということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学  
として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。

## 東京医科歯科大学における グローバル人材育成プログラム (2014年度以降)

### 医療・医学における「グローバル人材」とは？

#### • Think globally, act **locally**

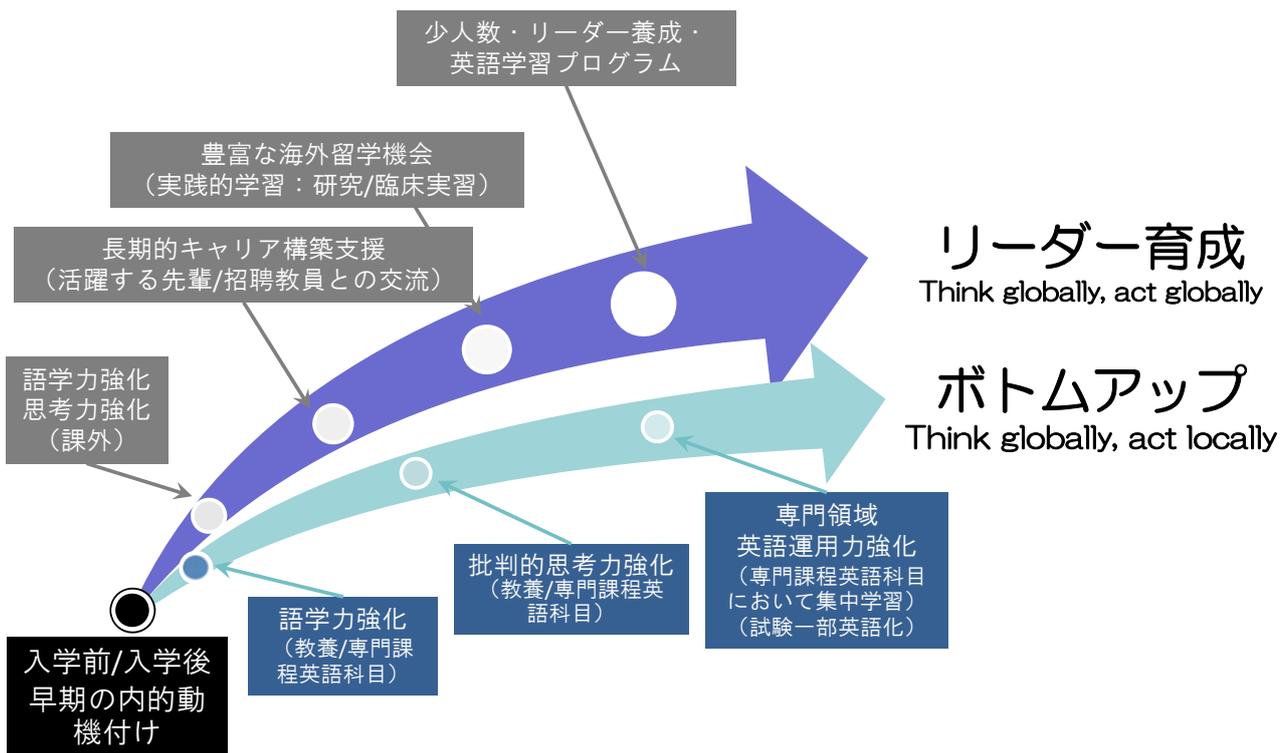
診療の国際標準化や、(世界的流行病や災害時の)国際協調に対応できる  
グローバル化時代の医療人「全員」に求められるレベル

#### • Think globally, act **globally**

日本が、生命科学研究・国際保健/医療政策・医療産業分野で世界を  
牽引していくために中心的役割を担う

グローバル化時代に日本が世界を支え牽引する・・・  
・・・「リーダー」に求められるレベル

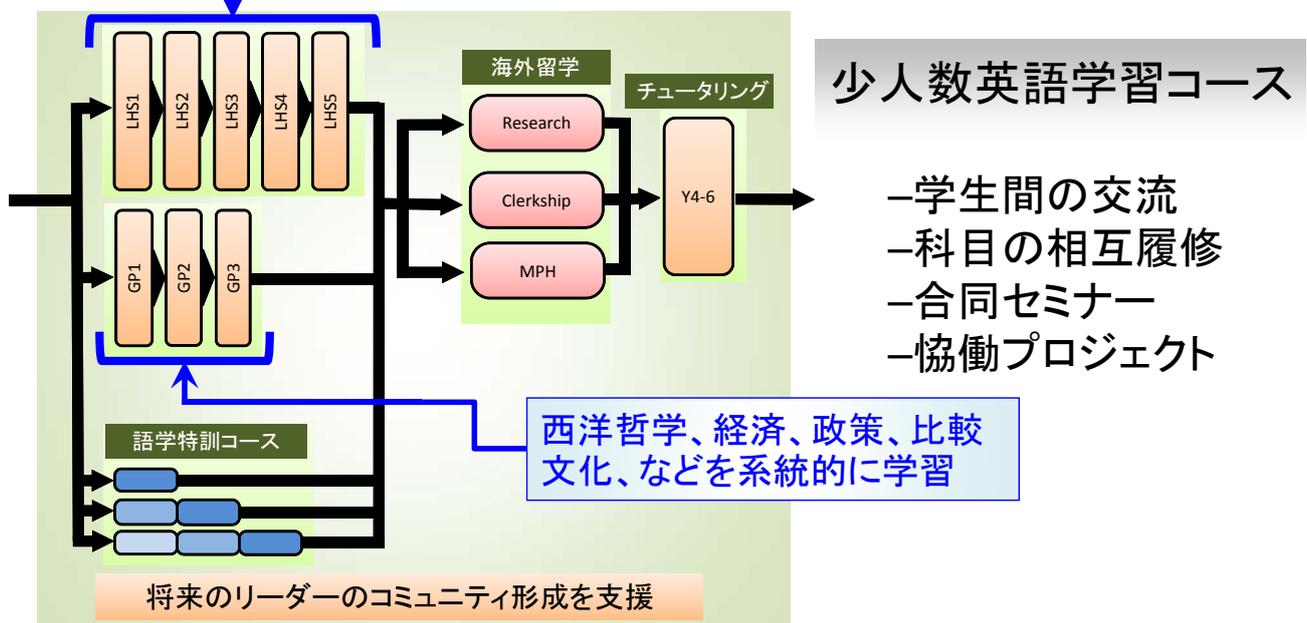
# 東京医科歯科大学における グローバル人材育成プログラム (2014年度以降)



## Health Sciences Leadership Program

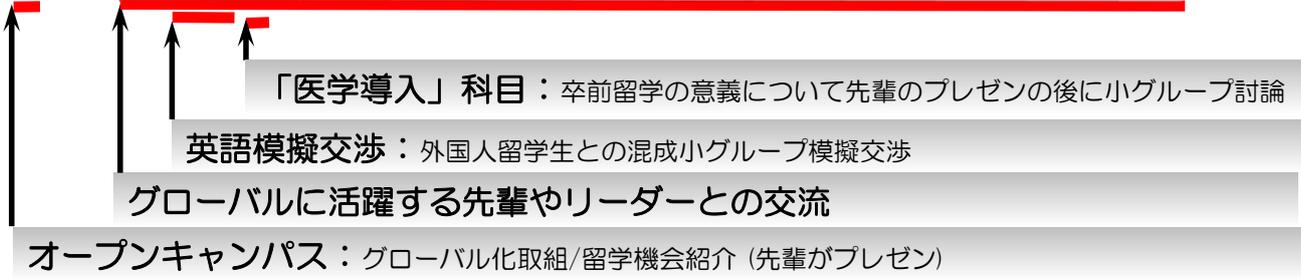
### 少人数/リーダー養成/英語学習コース

Case study形式で、医学/医療および関連領域知識、批判的/創造的思考力、リーダーシップスキルを、主体的に習得



# 医学科における取組：内的動機付け

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
教養教育	基礎医学	臨床医学	研究実習	臨床実習	卒業試験
医学導入	教養 / 医歯学基盤教育				



内的動機付けのための取組



- 海外留学希望者の受験↑
- グローバル対応力への関心↑
- 英語実習への意欲↑

## 英語模擬交渉

- 語学および思考力向上の内的動機付けが目的
- 希望する新生と外国人留学生の混成小グループ
- 国際保健問題に関する英語での模擬交渉

### The Immunization Boycott in Nigeria

**WHO**  
司会進行。再開を希望するも、長期的視点にも立ち、国際連携を重視する。

**CDC**  
早急な再開を希望。ポリオ撲滅へ向けたこれ以上の拠出金は難しいとの立場。

**Nigerian MOH (ナイジェリア保健省)**  
経済活動への影響を考慮し再開を希望するも、野党が統治する州政府との関係は維持しておきたい。

**MSF (国境なき医師団)**  
保健医療従事者の暗殺を問題視。地域の安全が保障されればワクチン再開を希望。

**Kano State Government (カノ州政府)**  
ワクチンの安全性を示すデータが不十分であるとし、安全性の確認までは再開できないと主張。

**Local community organization (地域の首長)**  
ワクチンの安全性を問題視。ウイルス混在の噂からボイコットを主導。西欧に対する根強い不信感あり。

**北部ナイジェリアのポリオワクチン接種は再開すべきか？**



## グローバルに活躍する先輩やリーダーとの 交流機会

### “Find-Your-Role-Model” sessions

- キャリアビジョン構築補助
- ロールモデル同定補助
- グローバルな舞台で活躍する先輩やリーダーと交流
- 月1回程度開催、参加自由



米国で内科研修中の本学医学科卒業生を招いて



WHOエチオピア事務所にて活躍する日本人看護師の方を招いて

## 医学科における取組：正規語学科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
教養教育	基礎医学	臨床医学	研究実習	臨床実習	卒業試験
医学導入	教養 / 医歯学基盤教育				

専門課程全科目定期試験一部英語化

正規語学科目（教養教育～専門課程）

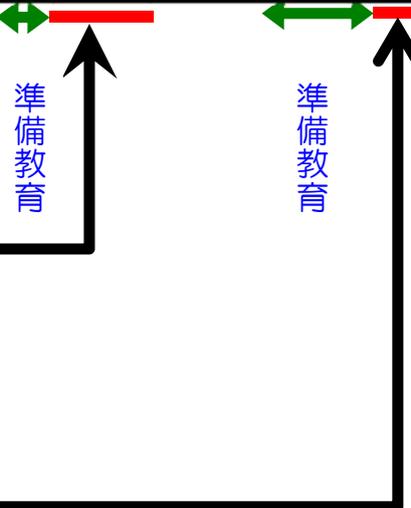
- **本学理念にもとづく到達目標の設定**
  - 「英語で診療を行える」ではなく、「英語で議論ができる」を
  - 語学力だけでなく思考力強化も行う
- **到達目標実現可能性を高める学習方法を設定**
  - 少人数英語討論
  - 英語母語者比率を高める（学生：講師 = 10：1）
- **専門領域英語運用力強化：**
  - 専門用語（英語）の外国語科目での集中学習
  - 定期試験の一部英語化



# 医学科における取組：海外留学

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
教養教育	基礎医学	臨床医学	研究実習	臨床実習	卒業試験
医学導入	教養 / 医歯学基盤教育				

研究留学機会
<b>提携校/海外教育研究拠点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インペリアルカレッジ（5名）</li> <li>・オーストラリア国立大学（2名）</li> <li>・ソウル大学（2名）</li> <li>・チュラロンコン大学（6名）</li> <li>・チリ大学・クリニカラスコンデス病院（6名）</li> <li>・ガーナ大学野口記念医学研究所（4名）</li> </ul>
<b>海外研修奨励制度</b>
・希望する大学・機関に3名
臨床留学機会
<b>提携校</b>
・ハーバード大学（～10名）



（医学科定員80名）2008年まで

# 医学科における取組：海外留学

## グローバル人材育成における海外留学の意義

- ① グローバル対応力向上意欲のある学生に、意欲の高い時期に、効果的な学習機会を与える
  - 学習意欲（語学力向上意欲）の高い学生の多くは海外留学を希望
  - 応募・選考においてTOEFL基準を設定
  - TOEFL特訓コースを本学で提供
  - 留学前集中準備教育を提供
- ② 研究/臨床実習という形式の留学：
  - 実践的学習ができる
  - 他国医学生と密に接し、交流する
  - 指導医・指導教員から密な指導が受けられる
- ③ 研究留学の場合は枠・授業料という点でも許容性が高い

## 留学機会の創出および維持を支える仕組み

- ① 留学を可能にするカリキュラム
  - 自由選択学習（第4学年）
  - 臨床実習選択ローテーション（第6学年）
- ② 入学前からの内的動機付けによる、留学希望者の選抜
- ③ 提携校や海外拠点の利用
- ④ 過去派遣者の参画する徹底した事前教育
- ⑤ 留学先における支援（拠点教員や本学アラムナイ（研究留学中の医師）など）
- ⑥ 財政的支援
  - 運営費からの支援
  - 基金からの支援
  - 学外奨学金制度の利用

## 課題と対策

課題	対策
① 専門職の養成→学部教育は日本語→学習環境のグローバル化が難	① 大学院留学生の動員／国内提携校との連携
② 時間割が過密→休学をせずに留学は不可能	② 研究実習期間に研究留学機会を、臨床実習期間に海外「選択ローテーション」機会を創出
③ 留学先の授業料が高額	③ 運営費や基金、奨学金制度を利用
④ 臨床実習留学では高度な英語に加え英語での診療能力が必要	④ 派遣前準備教育を米国専門医保持者や米国看護資格保持者により提供
⑤ 留学先の確保	⑤ <b>GHLO</b> への加盟準備中

# Global Health Learning Opportunities (GHLO)

**TMDU**  
東京医科歯科大学



- アメリカ医科大学協会内 (AAMC) に設立された機構
- (目的)
  - 世界に存在する様々な学習機会 (臨床・研究・公衆衛生) への医科大学生 (最終学年) のアクセスを向上させるための世界規模のネットワーク構築
- (主たる活動)
  - 機構加盟校の質保証 (加盟時書類審査、学生からのフィードバック、現地調査)
  - インターネットを介した応募機構の準備/運営
- (加盟の際の条件)
  - 「派遣のみ」はだめ、必ず「受入」も行うこと
  - 毎年加盟費用発生 (世界銀行指標による/日本は\$3,500)
  - 授業料は受入校が指定
  - 受入: インフラ整備、指導/メンタリング提供
  - 派遣: 準備教育
- 現在4大陸 (北米・欧州・アジア・南米) より24校が加盟しトライアル実施中、2013年秋本格稼働予定

## Global Health Learning Opportunities (GHLO) (加盟する意義)

**TMDU**  
東京医科歯科大学

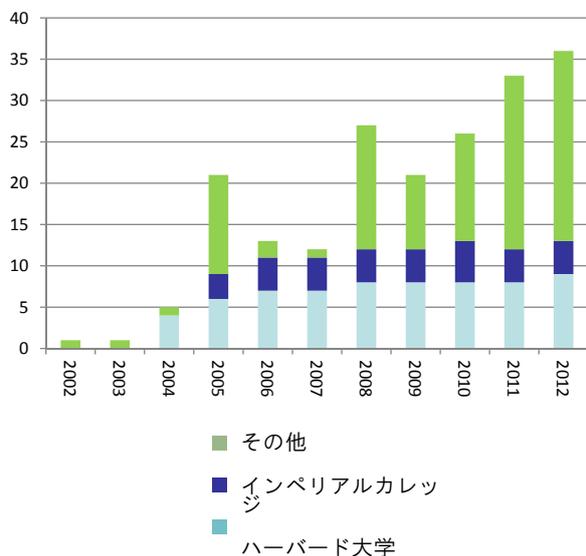


- ✓ 豊富な海外留学機会をもらたす
- ✓ 留学機会拡大のための時間・労力 (協定締結) を縮小できる
- ✓ 学生による応募手続きが大幅に簡略化される
- ✓ 日本や北米だけでは得られない貴重な学習機会を創出する
- ✓ 海外加盟校学生の本学での実習は、本学のキャンパスのグローバル化をもたらし、学生・教職員双方に強い刺激を与え動機付けを促すことが期待される

# 海外留学派遣実績 (医学科定員80名\*)

\*2008年まで

海外研修派遣学生数



## 海外教育/研究拠点

- チリ、東京医科歯科大学ラテンアメリカ共同研究拠点 (LACRC) への研究留学 (22名)
- タイ、チュラロンコン大学-東京医科歯科大学研究教育協力センター (CU-TMDUセンター) への研究留学 (31名)
- カーナ大学野口記念医学研究所-東京医科歯科大学共同研究センターへの研究留学 (18名)

## 海外研修奨励制度

- 全学を対象とし、成績優秀者の国際学術交流協定校等への短期留学奨学金制度 (100名(含む一部上記))
- 本学健康推進医学分野での卒前研究の一環として WHO Internshipに参加 (5名)

## 海外教育機関との提携

- ハーバード大学との単位互換臨床実習 (82名)
- インペリアルカレッジとの交換研究留学 (32名)

# 明日の医学における グローバルリーダーの輩出を目指して



インペリアルカレッジ (英国・ロンドン)



Duke University (海外研修奨励制度)



ハーバードメディカルスクール



ガーナ



タイ



チリ